



清水 大糸 議員

## 環境センター関連事業の住民合意に係る搬入路等関係自治会への説明の今後のスケジュー

問

答 来月1月にかけて、各区・自治会の皆様への説明を予定しており、特に搬入路は、ご不安やご懸念を聞き取り、意見交換を重ね、一つ一つ課題を解決しながら合意形成に向けて取り組んでまいりたいと考えます

問

環境センター事業の住民合意に係る搬入路等関係自治会への説明の今後のスケジュー

問 環境センター事業の住民合意に係る搬入路等関係自治会への説明の今後のスケジュー

答 環境部長

来月1月にかけて、各区・自治会の皆様への説明を行つてまいりたいと考えております。特に搬入路は、ご不安やご懸念をしつかりと聞き取つたうえで、どのような対応や対策ができるか、意見交換を重ね、一つ一つ課題を解決しながら合意形成に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

問 事業全体像がわからないと判断できないため、案を具体的に示して、区民の皆さんの意見を聞く方がよいのではないか。

答 環境部長

施設の設計は事業者提案を受けた後に決定する」とから、事前に詳細な部分をお示しできない部分が多いですが、生활環境影響調査の結果など、できる限りの情報を提供し、施設の安全性や環境対策などについて丁寧に説明を繰り返しながら、疑問点やご懸念に具体的にお答えすることが重要だと考えております。

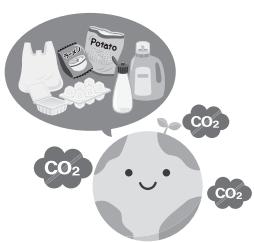
搬入道路についても、沿道の一軒一軒に説明に回り、収集車の走行に関するご懸念に対し、例えば緩衝帯の整備を検討し提案するなど、具体策を示しながら意見交換を進めています。

問 プラスチック新法に基づく、努力義務であるプラスチックの再商品化を財政圧迫してまで行う価値があるのか。

答 環境部長

環境省の考え方として、最大限リサイクルに取り組むことが示され、交付金を受けるため要件化されるなど、実質要だと考えております。

化石燃料をいかにCO<sub>2</sub>に変えないかという点から、プラスチックをできるだけリサイクルしていくことになると想います。コストダウンを今後しっかり研究をし、より効率的な分別と焼却の方法について、最新情報も収集しながら研究してまいりたいと考えております。



問 市長就任当初から費用節減に取り組んでこられたからこそ、プラスチック資源化施設の縮小又は廃止を検討されるべきではないか。

答 市長

的に取り組みが求められていることを踏まえ、市として方針決定し、基本計画に位置付けたものです。

### その他の質問

- ・高島市後援名義使用承認について